

公益社団法人日本理科教育振興協会第五十一回定時総会  
文部科学大臣祝辞

本日、公益社団法人日本理科教育振興協会第五十一回定時総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

はじめに、皆様方におかれては、日頃から子供たちや教師が観察、実験で活用する優れた理科教材を開発し、理科教育の充実・発展に多大なる御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、今年度から、高等学校新学習指導要領が年次進行で実施となり、小学校、中学校、高等学校いずれにおいても、理数教育の充実を図った新学習指導要領に基づく教育課程が実施されております。

また、GIGAスクール構想による一人一台端末等が整備され、学校現場では、ICTを活用した学習が一層進められているところです。

令和の時代にあって、学校におけるデジタル化の推進は、質の高い教育を実現する上で必要不可欠です。理科教育においても、学習を一層充実していくために、これらICTを効果的に活用していくことが重要です。

同時に、理科教育においては、子供たちの科学的に探究する力を育成するため、自然の事物・現象に直接触れながら観察、実験を行っていくことも重要です。

文部科学省といたしましては、こうした理科教育をしっかりと支えていくため、理科教育等に必要な設備整備の支援をはじめ、子供たちの確かな学力を育むための施策を進めてまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶いたします。

令和四年五月十九日

文部科学大臣 末松 信介